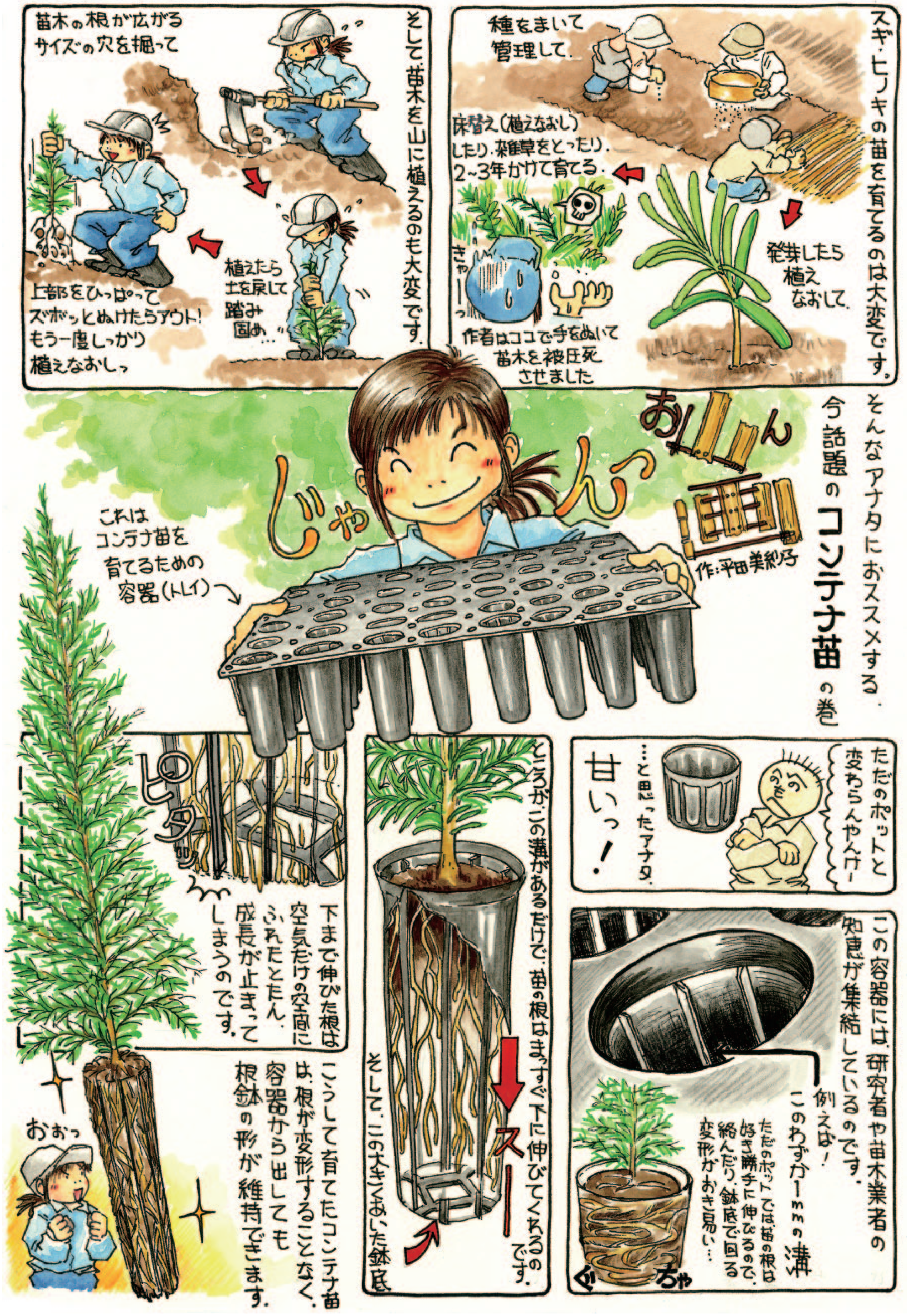
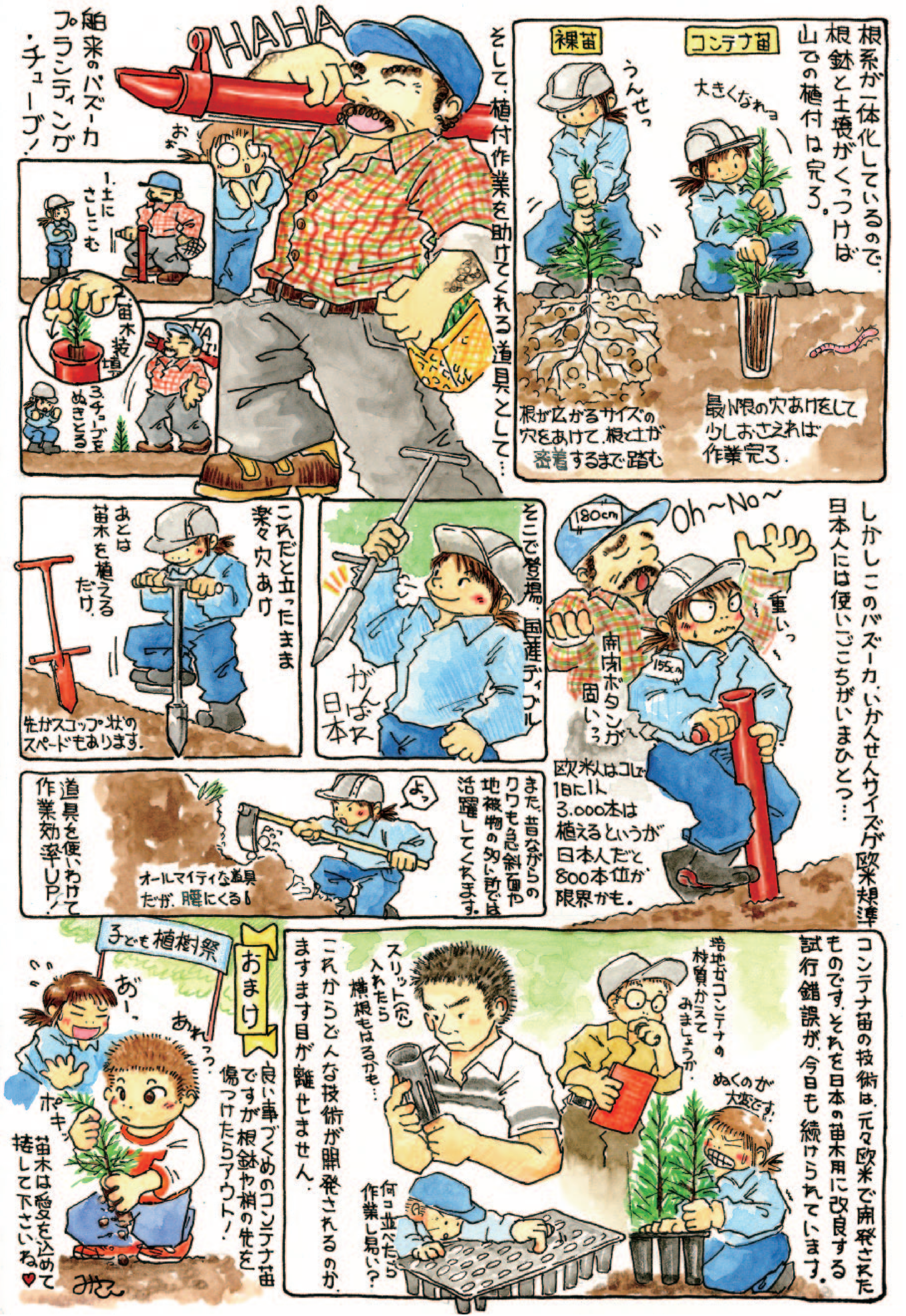

スギ・ヒノキの苗を育てるのは大変です。
種をまいて管理して。
発芽したら植えなおして。
床替え（植えなおし）したり、雑草をとったり、2~3年かけて育てる。
きゃーっ
作者はココで手をぬいて苗木を被圧死させました
そして、苗木を山に植えるのも大変です。
苗木の根が広がるサイズの穴を掘って
植えたら土を戻して踏み固め…
上部をひっぱってズボッとぬけたらアウト！もう一度しっかり植えなおしっ
そんなアナタにおススメする、
今話題のコンテナ苗の巻
じゃんっ
お山ん画
作：平田美紀子
これはコンテナ苗を育てるための容器（トレイ）
ただのポットと変わらんやんけー
…と思ったアナタ、
甘いっ！
この容器には、研究者や苗木業者の知恵が集結しているのです。
例えば！このわずか1mmの溝
ただのポットでは、苗の根は好き勝手に伸びるので、絡んだり、鉢底で回る変形がおき易い…
ぐちゃ
ところが、この溝があるだけで、苗の根はまっすぐ下に伸びてくれるのです。
スー
そして、この大きくあいた鉢底
下まで伸びた根は空気だけの空間にふれたとたん、成長が止まってしまうのです。
ピタッ
こうして育てたコンテナ苗は、根が変形することなく、容器から出しても根鉢の形が維持できます。
おおっ


根系が一体化しているので、根鉢と土壌がくっつけば山での植付は完了。
裸苗
コンテナ苗
うんせっ
大きくなれっ
根が広がるサイズの穴をあけて、根と土が密着するまで踏む
最小限の穴あけをして少しおさえれば作業完了。
そして、植付作業を助けてくれる道具として…
舶来のバズーカ プランティング・チューブ！
HAHA
おぉ
1.土にさしこむ
2.苗木装填
3.チューブをぬきとる
HA
しかしこのバズーカ、いかんせんサイズが欧米規準
日本人には使いごこちがいまひとつ…
Oh~No~
180cm
155cm
重いっ
開閉ボタンが固いっ
欧米人はコレで1日に1人3,000本は植えるというが日本人だと800本位が限界かも。
そこで登場、国産ディブル
がんばれ日本
これだと立ったまま楽々穴あけ
あとは苗木を植えるだけ。
先がスコップ状のスペードもあります。
また、昔ながらのクワも急斜面や地被物の多い所では活躍してくれます。
よっ
オールマイティな道具だが、腰にくる！
道具を使いわけて作業効率UP！
コンテナ苗の技術は、元々欧米で開発されたものです。それを日本の苗木用に改良する試行錯誤が、今日も続けられています。
培地やコンテナの材質かえてみましょうか。
スリット（穴）入れたら横根もはるかも…
ぬくのが大変です。
何コ並べたら作業し易い？
これからどんな技術が開発されるのか、ますます目が離せません。
おまけ
子ども植樹祭
あー、
あれっっ
ポキッ
良い事づくめのコンテナ苗ですが根鉢や梢の先を傷つけたらアウト！
苗木は愛を込めて挿して下さいね♥
みきこ